

先天性網膜剥離について

病 名	病気の症状や対応について	難病の団体・HP
先天性網膜剥離	<p>◇症状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網膜が網膜色素上皮(もうまくしきそじょうひ)から分離し、網膜の下に水がたまる病気。おおまかに裂孔原性(れっこうげんせい)網膜剥離と非裂孔原性網膜剥離に分けられるが、普通は網膜剥離といえば裂孔原性網膜剥離を指す。 ・裂孔原性網膜剥離は網膜に孔(あな)があき、そこから網膜の下に水が入って起こる病気。毎年1万人に1人くらいの割合で起こると考えられている。剥離した網膜は徐々に機能を失っていくので、放置すれば失明に至る病気。以前は恐ろしい病気というイメージもあったが、最近では手術でほとんど治るようになっている。 <p>◇治療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経強膜法(けいきょうまくほう)と硝子体手術の2通りある。若年者に多い格子状変性の円孔による丈の低い網膜剥離では、ほとんどの場合、経強膜法が行われる。中高年者の丈の高い網膜剥離では、裂孔の大きさ、位置などでどちらを選ぶかを決める。 ・最近では、徐々に硝子体手術の割合が増えてきている。網膜剥離がこじれた状態である増殖硝子体網膜症、黄斑円孔による網膜剥離、巨大裂孔による網膜剥離などでは硝子体手術が主に行われる。軽い網膜剥離では網膜光凝固術で治療することもある。 <p>(gooヘルスケア：HPより)</p>	<p>網膜剥離友の会 //www7.ocn.ne.jp/~hakuri/</p>